

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 54号

2013/06/24 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：両市場とも2、3カ月ぶりの安値水準、上昇の懸念は少ない状況

①週最高：LDN市場£1,452 / NY市場\$2,216 (6/17, 6/19)	先週比 LDN - £107 / NY - \$168
②週最低：LDN市場£1,431 / NY市場\$2,151 (6/20, 6/21)	先週比 LDN - £43 / NY - \$102
週内価格差額 (①-②)：LDN市場£21 (傾向↓) / NY市場\$131 (傾向↓)	
週内建玉推移：LDN市場 234,879枚⇒235,814枚	-935枚
NY市場 190,868枚⇒187,015枚	-3,853枚

①週最高：LDN市場£1,559 / NY市場\$2,384 (6/10, 6/12)	先週比 LDN - £4 / NY + \$20
②週最低：LDN市場£1,474 / NY市場\$2,253 (6/20, 6/21)	先週比 LDN - £36 / NY + \$7
週内価格差額 (①-②)：LDN市場£85 (傾向↓) / NY市場\$131 (傾向↓)	
週内建玉推移：LDN市場 240,804枚⇒235,272枚	-5532枚
NY市場 207,975枚⇒199,304枚	-8671枚

【6月17日(月)】両市場とも続落＝投機筋の手じまい売りに両市場ともに続落。投機筋の手じまい売りに押された。

ロンドン市場の9月きりは22ポンド(1.5%)安の**1452ポンド**で終了。4月5日以来の安値となった。

ニューヨーク市場の9月きりは38ドル(1.7%)安の2215ドルで取引を終えた。5月31日以来の安値だった。

ディーラーによると、短期、長期いずれの移動平均も割り込んだことで、テクニカル的な売りが膨らんだという。

【6月18日(火)】

ニューヨーク市場の9月きりは、5ドル(0.2%)安の1トン＝2210ドルで終了した。一部投機筋が、テクニカルな要因でロングポジションを解消したことを背景に、ココア先物は過去3営業日で急

落していた。テクニカルな支持線となる2200ドルの水準に迫るにつれ、下落の流れは弱まった。

7月きりと9月きりのスプレッドは49ドルに拡大。先週は6ドルだった。ロンドン市場の9月きりは変わらずの1452ポンド。英国を拠点とするブローカーは、「短期的にはわずかに売られ過ぎだったため、安定化する可能性はある」と話した。

【6月19日(水)】ニューヨーク、小反発＝ロンドン下落

ニューヨーク市場のココア先物は小反発。9月きりは、6ドル(0.3%)高の2216ドルで終了。主要支持線の2200ドルを維持した。

ディーラーの1人は「2200ドルの支持線は強い。これを割り込むようなら、投機筋の解消売りがあるかもしれない」と話した。ロンドン市場の9月きりは、4ポンド(0.3%)安の1448ポンドで引けた。

【6月20日(木)】両市場ともに下落＝需要面弱く

需給面の弱さに加え、商品市場全般が世界的に下落したことが圧迫要因となり、両市場とも下落した。ニューヨーク市場の9月きりは一時2152ドルと4月以来の安値まで下落。終値は59ドル(2.7%)安の2157ドルだった。

マレックス・スペクトロンのジョナサン・パークマン氏は「中短期的には十分な供給があり、差し迫った気候面での問題も特段ない。このため、実需業界は比較的余裕を持った見方をしており、このことが相場下落につながる可能性が高い」と指摘した。ロンドン市場の9月きりは17ポンド(1.2%)安の1431ポンドで終了。一時1429ポンドと2カ月以上ぶりの安値まで下げる場面もあった。

【6月21日(金)】ニューヨーク続落、ロンドンは反発

ロンドン市場が反発、ニューヨーク市場は続落した。ニューヨーク市場9月きりは一時2145ドルと、4月8日以来の安値を付けた後、6ドル安の2151ドルで引けた。

RJOフューチャーズのヘクター・ガルバン氏によると、相場は収穫懸念が再燃するまで、上昇する見込みはないという。

最大産地、西アフリカでは今のところ順調な天候が予想されている。

ロンドン市場の9月きりは1425ポンドと、5月18日以来の安値に下げた後、6ポンド高の1437ポンドで引けた。

2,ペルー産とコロンビア産カカオ豆取引にプレミアム導入＝ICE先物に\$80上乗せ(6/22)

商品先物取引などを手掛ける米インターコンチネンタル取引所(ICE)は21日、ペルー産とコロンビア産のカカオ豆が、ICEの先物価格にトン当たり80ドルのプレミアムを上乗せした価格で取引されると発表した。2015年7月きりから発効する。

市場関係者はこのプレミアム導入について、両国産のカカオ豆の商業的価値が、過去数年間で相対的に上昇したことを反映したと語った。従来はICE先物と同価格で取引されていた。ガーナと、世界最大の生産国コートジボワールのメインクropp期のカカオ豆については、プレミアムがトン当たり160ドルに設定されている。

3、米ADM、カカオ豆事業の売却検討(6/21)

米農産物商社大手アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド（ADM）は20日、声明を発表し、傘下のカカオ豆事業を手掛ける「ADMココア」について、事業売却の可能性について協議していることを明らかにした。声明は「現在、ADMココアの事業売却の可能性を協議している。協議は継続中で、売却合意の実現を保証するものではない」としている。

4、コートジボワールのミッドクropp期カカオ豆、豪雨で病気発生懸念が浮上(6/18)

農家とアナリストらが17日語ったところによると、コートジボワールのカカオ豆のミッドクropp期（4～9月）は、大量の降雨で堅調な収穫への期待が高まった一方、作物の病気発生に対する懸念に拍車がかかり始めている。

トレーダーや輸出業者の多くは豊作を期待している。ただ今年初めの高温乾燥天候のあおりで、収穫開始は遅れた。輸出業者はこれまでのところ、豆の品質や大きさに不満を示している。

1カ月余り続いた降雨の後、農家は豆の大きさが改善すると予想。ただ一部地域で既に洪水を引き起こした豪雨が、作物にも被害を及ぼす可能性を懸念している。

カカオ豆ベルトの中心に位置する西部スブレでは、2日間の雨量が120ミリに達した。前週は132ミリだった。

現地の農家は「11日の豪雨で橋が流され、一部で農園が浸水した」と語った上で、「浸水した道路が多く、農家は農園に行っていない。雲が多い天候がまだ続いているため、（カカオ豆の）病気を懸念している」と付け加えた。南東部アボイツソでも、豪雨による病気発生への不安が浮上している。

5、コートジボワールのカカオ豆着荷、16日時点で前年上回る＝128万トン前後(6/18)

複数の輸出業者の推計によると、2012年10月の年度入り以降、今月16日までのコートジボワール・主要2港（アビジャン港、サンペドロ港）のカカオ豆着荷量は128万トン前後となり、前年同期（121万トン）を上回った。6月1～16日の2港のカカオ豆着荷量は推計2万トン前後で、前年同週と同水準とみられている。

6、カメルーン産カカオ5月までの輸出数量は前年対比11%増加(6/18)

世界第五位のカカオ生産国であるカメルーンは5月末までの輸出数量が190,917トンとなり、前年の同時期の171,227トンと比較し、11%の増加となったことが国営カカオ&コーヒーボードの統計にて判明した。

5月はカメルーン全体から1,768トンのカカオ豆の輸出があり、前年の3,286トンからは減少した。

Telcar Cocoa社が月間401トンの輸出数量でトップの輸出商社であった。

カメルーンのカカオは8月1日から7月31日までが1シーズンとされており、メインクroppは10月から1月、2月頃まで、ライトクroppは4月、5月頃から7月までとなっている。

2011/2012シーズンは、中央アフリカにあるカメルーンから180,000トンのカカオ豆が輸出され、2010/2011シーズンの200,083トンから減少していた。しかしながら、今シーズンは良好な天候と政府からの生産者への肥料、殺虫剤、防カビ剤などの補助等が効果を発揮して生産数量、輸出数量が上昇する見込みである

7、インドネシア：4月のカカオ豆輸出数量(6/18)

下記はインドネシア銀行から発表される毎月のカカオを含む主要な農作物の輸出数量の統計である。

月	Palm oil (百万トン)	Cocoa beans	Coffee beans	単位：トン*Plamを除く
2013				
April	1.566	16,000	36,000	
March	1.529	14,000	31,000	
February	1.760	14,000	35,000	
January	2.295	14,000	30,000	
2012				
December	1.833	10,000	34,000	
November	2.260	14,000	47,000	
October	1.448	9,000	60,000	
September	1.853	26,000	69,000	
August	1.381	8,000	47,000	
July	2.016	15,000	58,000	
June	1.076	12,000	38,000	
May	1.015	19,000	30,000	
April	1.347	9,000	20,000	
March	1.718	14,000	15,000	
February	1.321	19,000	15,000	
January	1.674	16,000	15,000	
2012 合計:	18.942	171,000	448,000	

今週の関連ニュース)

T P P 交渉、年内妥結目指す=米通商代表が決意 (6/22)

米通商代表部 (U S T R) のフロマン新代表は21日、ロイター通信とのインタビューで、日本も7月に合流する環太平洋連携協定 (T P P) 交渉の年内妥結という目標について、「野心的だが、それがわれわれが設定した目標だ」と実現への決意を示した。

フロマン氏は、T P P 交渉について「包括的で高い水準の自由貿易協定を目指しており、全ての交渉参加国にとって難しい挑戦となる」と指摘。難航が伝えられる繊維製品の自由化を求めるベトナムとの交渉については「(利害が異なる) 米国の生産者と輸入業者、消費者間の適切なバランスを保持したい」と述べた。このほか欧州連合 (E U) との自由貿易協定 (F T A) 交渉に関しては、「最も広範で包括的な協定を目指す」と述べる一方、「双方に対応が必要な重要品目がある」との認識も示した。(

*特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております!!こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp